

2025年度 盛心塾和歌山 活動報告

2025年度盛心塾和歌山総会

2025年1月31日和歌山市のアバローム紀の国にて新年総会が開催されました。

当日参加者と欠席者の委任状とを合わせて総会は成立し、2025年度の事業計画や人事案など、肅々と議決してまいりました。その中で、長年、代表世話人をお努めいただいた小池塾生への感謝品の贈呈を行い、小池塾生よりも心のこもったご挨拶を頂戴しました。また、昨年「心を高める経営を伸ばす 世界大会」で素晴らしい発表をなされた、竹島塾生からもコメントを頂戴し、大変盛り上りました。

懇親会は、各テーブルで談笑を交えながら和やかなムードで進んでおりましたが、本年の経営の決意発表が始まると空気は一変。売り上げ・利益目標や、人間的成長など、今皆さんのがかかれている事、悩まれている所も交えての真剣な発表がありました。こういう所が他団体とは一線を画す「旧盛和塾・盛心塾らしさ」あります。本年も皆で「ど真剣」に学びを深めていこうと心新たにした新年総会となりました。



盛心塾和歌山

他塾との交流

関西10塾合同勉強会

2025年5月17日(土)大阪商工会議所にて、関西10塾合同勉強会が開催されました。

ハッキリ言って、世界大会の関西地区予選会です。発表者は8名。盛心塾和歌山からは、ASMILE株式会社の酒本塾生に和歌山塾を代表して発表して頂きました。

酒本塾生は大変多忙な時期だとは伺っていましたが、ないお時間を工夫して頂き、当日は素晴らしい発表者が集まる中で堂々とご発表頂くことができました。塾として感謝すると同時に、自社やご自身の今後の躍進に結び付くものと期待しております。

これからも、和歌山塾はこのような機会を契機として、関西をはじめとする全国の他塾とも交流し、有意義な勉強会につなげてまいりたいと思います。

第7回「心を高める経営を伸ばす」合同合宿勉強会

2025年11月29日30日と、毎年恒例の日本各地の塾より100名の経営者が滋賀県の琵琶湖のほとりに集う勉強会が今年も開催されました。今年は幹事塾が盛心塾和歌山であり、神戸塾や尾張塾の助けもいただきながら、一年間多くの時間をかけて準備をしてまいりました。古参の塾生の皆様も「一番素晴らしい、旧盛和塾らしい勉強会」と口を揃えておっしゃるように、この勉強会には経営にもがきながら従業員を幸せにしたいとの各経営者の真剣な思いが充満し、独特的の磁場が発生している会あります。

今回の和歌山塾からの発表は児玉塾生。色々な事情があり開催1月前に発表者に決まりましたが、そのような事は微塵も感じさせない立派な発表がありました。本当に素晴らしい勉強会ですから、これからもずっと続けて和歌山塾生の成長発展へつなげていきたいと思いました。



第1回和歌山塾・尾張塾合同勉強会

8月22日(金)、23日(土)

盛心塾尾張の塾生企業である、イセ工業(株)様と(株)山三商会様に訪問させて頂き、企業紹介のあと工場見学をさせて頂きました。

夜は、各塾より経営体験発表者を出し合い、経営問答を行う貴重な勉強会となりました。

来年は、尾張塾が和歌山に来て勉強会を行うことになりましたので、しっかりと受け入れ対応をさせて頂きましょう。



第5回 心を高める 経営を伸ばす 世界大会

10月29日(水)

京都国際会館にて、世界から選出された6名の方々の素晴らしい経営体験発表を聞くことができました。

盛心塾の醍醐味でもある世界大会を開催頂けていることに感謝です。

1000人規模の懇親会も圧巻です。和歌山からは日帰りで参加できるので、声を掛け合いみんなで参加しましょう。



講師例会委員会

丸山剛史

第1回 株式会社宮田運輸

代表取締役会長 宮田博文



テーマ：良心が響き合う社会を目指して

少年の頃からトラックが大好きだった宮田さん。家業を継ぎ、夢中で仕事に取り組んでいた矢先に起きた交通事故。そのことで、トラックが繋ぐ生命と、トラックが絶つ生命があることを知りました。

同社は、どんな人にも心の根底に「やさしさ」が必ずあると信じて、心をベースとした経営に取り組んでいます。今では、トラックの架台に子供たちが書いた「絵」を貼り付けることで、ドライバー自身が日々の安全運転に気をつけるように心の変化がきました。

ちょっとした創意工夫が生んだ愛のカタチが、交通事故を無くし、幸福成長企業を目指し続けるといったご講演内容でした。

第2回 京セラ株式会社

元会長 伊藤謙介



テーマ：魂の転移-理念の継承-

稻盛和夫氏と共に働いた記憶と、稻盛氏が大切にしていた「理念」を継承した第一人者。伊藤さんは企業にとって「経営理念こそが大事」と話されています。また、経営理念と企業の業績は連動するので、企業理念が希薄化したとき、企業の運命は尽きるとまで話されています。

また、稻盛さんと出会っていなければ、今の自分はないというほど人生が変わられました。稻盛氏から受け継いだ魂を後世に繋ぐ。この強い思いが魅力的な講師様でした。

第3回 医療法人社団 井上歯科

理事長 井上耕次



テーマ：「命をかけて従業員を幸せにし、歯科業界の未来をも変える」

小さなころから歯科医師になると決めていて、歯医者になって10年目で独立をされました。しかし、一緒に働く従業員が辞めていくことで悩み、藁にも縋る想いで盛和塾に入塾されています。

今では多くの歯科衛生士を抱えながら、日々仕事に取り組まれており、フィロソフィ輪読会などを通じて、従業員全員で人間力を高める努力をされています。

女性が多い職場なので、産休や育休が多いのですが、驚異的なのは、必ず職場復帰をしてくれていることです。井上さんは、稻盛氏から道徳観を学んだと話されました。ご講演のテーマでもある「命をかけて従業員を幸せにする」ことを有言実行されている、リーダーシップの強い講師様でした。

経営体験発表委員会

谷野貴義

■3月14日(金)

発表者：株式会社あさひ

取締役 西口 宗馬氏

場 所：和歌山城ホール

■8月8日(金)

発表者：合同会社BALANCE OFFICE

代表社員 吉田 崇弘氏

場 所：和歌山城ホール

■11月14日(金)

発表者：株式会社富士商會

取締役第一営業副本部長 佐伯 晋吾氏

場 所：ビック愛



業種、業態、事業規模も異なる3名の発表となった。

経営体験発表は発表者の生い立ち、仕事への姿勢、人となりが本当に良く分かる場です。そして稻盛哲学を真剣に学び、その学びをどのようにして自身・会社の成長、従業員の幸せ、社会への貢献に繋げるかという部分を出席者で共有する貴重な時間になっています。

参加者のみならず、発表者からは、発表することで自身を振返る良い機会となったとの感想をいただきしており、盛心塾の学びの根幹をなすものかつ大きな特徴となる勉強会です。

フィロソフィ委員会

前川佳輝

- 方 針
- ・京セラフィロソフィを輪読し理解を深めるとともに、社内でのフィロソフィ実践、血肉化する方法や、社員への説明方法等の問題点解決へのアドバイスや意見交換を行う。
 - ・輪読することにより、多様な背景を持つ参加者の意見を聞くことで、新たな視点や解釈に触れ学びを深める。

- 目 標
- 参加者が社内でフィロソフィを実践し血肉化することにより、経営を高め従業員の物心両面の幸福を実現する。

- 活動方法
- Zoomで輪読を行い、塾生同士がコミュニケーションを図り、疑問や問題を皆で共有し自分たちで消する方法を導き出すことにより、塾生企業のフィロソフィの血肉化を深める。
- 同様に自社の従業員との共有化における問題点を解決する。

2025年度の活動実績

- 1月 『京セラフィロソフィ』はどのようにして生まれたか
- 2月 『京セラフィロソフィ』はどのようにして生まれたか
- 3月 ①心をベースとして経営する
- 4月 ②公明正大に利益を追求する
- 5月 ③原理原則に従う
- 6月 ④お客様第一主義を貫く
- 7月 ⑤大家族主義で経営する
- 8月 ⑥実力主義に徹する
- 9月 ⑦パートナーシップを重視する
- 10月 ⑧全員参加で経営する
- 11月 ⑨ベクトルを合わせる
- 12月 ⑩独創性を重んじる

IDL委員会

児玉芳典

4/11、7/11、9/12、12/19と、年4回北畠会計事務所様の会議室をお借りしてIDL勉強会を実施し、下記取組みを行いました。

- ・世界大会で配っていただいた「稻盛経営12カ月」を活用してIDLと連動させ、その月の推薦図書を活用してIDLを視聴しました。
- ・第二回目からタイマーを設定し、皆が発言出来るように一人ひとりの持ち時間を設定し、意見を言った方の次の方が意見を言った方に対して質問を行うようにしました。一人の人の発言に偏らないように皆が発言出来るように工夫しました。
- ・勉強会後のコンパでも時間設定を行いながら実施した回も設けました。
- ・第4回では望年会とIDLマラソングループの第100回突破記念も兼ねて、場所を変えて行いました。



拡大広報委員会

野上浩幹

拡大広報委員会は、一年を通じて新入塾生候補者の発掘と声掛けを行うと共に、6月14日和歌山城ホールにて新入塾生説明会を開催いたしました。今回は塾生の経営体験発表の後、それをテーマに各テーブルに分かれ、候補者各自の経営課題への落とし込みと積極的な発言を促して、盛心塾和歌山の学びの一端を理解していただくことをテーマにいたしました。また、講師例会委員会様にもご協力いただき、例会の場での拡大活動も行いました。皆様にご協力賜ったのに、大きな成果は得られなかったことは委員長の不徳の致すところで申し訳なく思っています。ただ、塾の存続発展には拡大活動は必須でありますから、今後も大きなテーマとして塾一体で取り組んでいく必要があり、私も微力ながら一生懸命やっていきたいと存じます。



合宿プロジェクト

重田真成

合宿委員長を仰せつかり、100名の経営者様が一同に参加される勉強会の管理運営は私にとって大変役立つ経験となりました。任命して頂き誠に有難う御座いました。

また、課題は山ほどありましたが、今回の課題を次回は克服した運営のお手伝いが出来れば幸いです。

稻盛カップ

2025年12月6日(土)有田市の有田リソルゴルフクラブで、稻盛カップが開催されました。12月ということもあり7名の参加と少し寂しい参加人数となりましたが、皆で和気あいあいとラウンドを楽しみました。故稻盛塾長よりいただいた由緒ある「稻盛カップ」。本年は川村代表世話人の手に渡りました。普段のど真剣な学びも大切ですが、ゴルフは各国の首脳外交の場となるくらいの紳士のスポーツですから、遊びの中でこそその腹を割ったお話や、従業員さんを惹きつけているであろうその方の魅力も新たに見えてきます。上手な方から初心者に近い方、バラエティに富んでいますので気軽にご参加くださいませ。

